

2012年11月

あのあこがれの味わいをひとりじめ！
加糖練乳のような濃厚でコクのある味わいを再現した「森永練乳シリーズ」の
「練乳オレ」がさらに濃厚な味わいになって登場！

「森永 練乳オレ 生クリーム仕立て」

12月4日(火)よりリニューアル発売

森永乳業は、加糖練乳の甘く濃厚でコクのある味わいを再現した「森永練乳シリーズ」より「森永練乳オレ 生クリーム仕立て」を12月4日(火)よりリニューアル発売いたします。

「森永練乳シリーズ」は、「甘くておいしい練乳を好きなだけ食べたい！」という、子供の頃のひそかな願望を叶えることができる商品です。加糖練乳の定番である「森永ミルク」を彷彿とさせる、牛のキャラクター“ミルリン”をあしらったパッケージデザインを採用しています。

2010年12月、“甘くておいしい練乳をチューブから好きなだけ食べたい！”という子どもの頃のひそかな願望を叶えることができる、新感覚のデザートヨーグルトとして「森永そのまま練乳みtainなヨーグルト」を期間限定で発売し、ご好評いただきました。2011年12月には、「森永そのまま練乳みtainなヨーグルト」の再発売に加え、さらに「森永とろ〜り練乳ライクなプリン」「森永たっぷり飲めちゃう練乳オレ」の2品を新発売ラインナップを強化いたしました。その後、2012年2月にはいちご、5月にはあずき、と練乳と相性の良いフレーバーを期間限定で発売しており、9月、11月には、練乳そのものの味わいを最もお楽しみいただける基本のフレーバー「森永練乳プリン モウ〜っと、極あま！」「森永練乳オレ」をリニューアル発売し、「森永練乳ヨーグルトこくあま仕立て」を新発売いたしました。

そしてこのたび、“濃厚”な味わいが特に好まれる傾向のある寒い季節にあわせ、生クリーム使用でより濃厚な味わいをお楽しみいただける「森永 練乳オレ 生クリーム仕立て」をリニューアル発売いたします。



1. 商品特長

- ① 生クリームを使用し、冬にぴったりの濃厚な味わいに仕上げました。練乳ならではの甘さと濃厚なミルクの味わいを、お好きなだけご堪能ください。
- ② ミルク分*48%のコクのある練乳オレです。そのまま飲んでいただくのはもちろん、いちごにかけて食べるなど、アレンジもお楽しみいただけます。
- ③ 3月までの期間限定商品です。

*ミルク分…乳固形分(無脂乳固形分と乳脂肪分)

2. 商品概要

①商品名	森永 練乳オレ 生クリーム仕立て
②種類別	乳飲料
③包装形態	ゲートボール
④内容量	500ml
⑤カロリー	141kcal / 200ml あたり
⑥保存方法	要冷蔵 10℃以下
⑦賞味期限	15 日間
⑧主要ターゲット	40 代男性
⑨主要売場	CVS、量販店、一般小売店
⑩希望小売価格	130 円(税別)
⑪発売日・地区	12月4日(火)・全国(沖縄を除く)
※JANコード	4902720 102049



この牛のキャラクターは、昭和 31 年に、当時の「森永ミルク 加糖れん乳」と「森永βドライミルク」(育児用の調製粉乳)の 2 つの商品に初めて採用されました。当時はデザイナーがいなかった時代。このキャラクターは画家の方に描いていただいたものです。その後はさまざまな森永乳業の商品パッケージのシンボルとして活躍しています。そして 2012 年 8 月 20 日(月)、お客さまからの公募により、56 年目にしてついに“ミルリン”という名前が決定いたしました。ミルクをたくさん出してくれた牛さんで、首のベルがリンリンと鳴っているイメージからきた、かわいらしい名前です。

<参考資料>

「森永ミルク」

加糖練乳「森永ミルク」は大正8年に金属缶タイプで発売され、市場の約60%を占める練乳の定番商品です(数量ベース・金額ベース、2012年10月時点、森永乳業調べ)。「森永ミルク(チューブ)」は、1985年に発売し、今年で発売27周年を迎えます。近年は、イチゴ・キウイ・バナナ等のフルーツに加えるだけでなく、かき氷にかけたり、コーヒーに入れたり、パンに塗ったりなどさまざまな使用法が浸透しております。



練乳の歴史

1.れん乳の起源は飛鳥時代

日本に牛乳が伝えられたのは飛鳥時代と言われています。牛乳は腐りやすいので、牛乳をそのままではなく、加熱処理をした「蘇(そ)」が天皇に献上されたと平安初期の記録に残っています。この「蘇(そ)」こそが練乳であったと言われています。



2.れん乳が広まったのは明治時代

練乳が日本で商品として作られるようになったのは明治時代のはじめから。練乳は牛乳よりも保存しやすく、貯蔵にも便利であったことから、赤ちゃんや子どものための人工栄養ミルクとして使われていました。



3.れん乳をつくる会社としてスタート

森永製菓より発売されていた「森永ミルクキャラメル」の原料である練乳をつくるために、大正6年、森永製菓の子会社として日本練乳が設立しました。この日本練乳が森永乳業の起源です。森永乳業は練乳の生産からスタートした会社なのです。



4.大正時代「練乳森永ミルク」発売

大正8年に、一般家庭用の練乳として「練乳森永ミルク」(加糖練乳)が発売されました。練乳は育児用の人工栄養ミルクとして広く使用されていましたが、砂糖が多く含まれています。そこで、育児用ミルクとして適した調製粉乳「森永ドライミルク」が大正9年(1920年)より発売されました。

「練乳シリーズ」その他ラインナップ



森永ミルク



森永練乳ヨーグルト
こくあま仕立て



森永練乳オレ



森永練乳プリン
モウ〜っと極あま!

練乳シリーズには、
たくさんの商品があるんだもう。



森永れん乳
氷バー



森永れん乳
アイスバー



以上